

# マンモグラフィにおける被ばく線量最適化に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年2月12日～2027年3月31日

## 〔研究課題〕

マンモグラフィにおける被ばく線量最適化に関する研究

## 〔研究目的〕

撮影されたマンモグラフィ画像から乳房圧迫厚、乳腺密度別に撮影条件を明らかにします。

## 〔研究意義〕

マンモグラフィ装置は乳房圧迫厚、乳腺密度から自動で撮影条件が選択されますが、乳房圧迫厚は撮影術者の経験・判断によるため、被ばく線量の変動が大きいことが予想されます。術者の撮影技術を向上するために現状を把握し、被ばく線量低減に取り組みます。

## 〔対象・研究方法〕

本学附属病院受診者において2020年4月1日から2025年10月30日までにマンモグラフィ装置で撮影された方の画像を対象とする。

画像の情報から受診者の属性(年齢、乳房圧迫、乳腺密度)による撮影条件(管電圧、線量等)の関係を分析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医療技術学部診療放射線学科

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人が同定されないように加工処理を行ってから実施します。

対象となる受診者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 齋藤祐樹 職名 教授  
研究分担者:氏名 曾我部和美 職名 非常勤講師  
所属: 帝京大学医療技術学部診療放射線学科  
住所: TEL:03-3964-1211(代表)